

『近現代東北アジア地域史研究会 News Letter』

(第 17 号～第 29 号) 総目次

大野 太幹

第 17 号 (2005 年 12 月発行)

- 石井明 天山から大山へ：東ユーラシア一人旅の勧め
田中隆一 韓国における『満洲』研究の動向
浅田進史 ベルリンのドイツ連邦文書館所蔵の中国関係資料：『中国駐在ドイツ大使館 Deutsche Botschaft in China』史料（1920 年まで）について
古市大輔 カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）所蔵の『崇實詩賦試巻』について
江夏由樹 李朝皇室の土地財産整理をめぐる利権争奪：中国における『皇産』『蒙地』の問題との関わり
塚瀬進 中日新聞本社にて発見された満洲国関係の写真について
丁晓杰 『蒙疆政権』時期の文教機関・団体及び雑誌
松重充浩 『満洲日日新聞』（1915～1916 年）モンゴル関係記事標題目録
上田貴子・小都晶子 東北アジア近現代史関係文献目録（1999～2005 年）
鈴木仁麗 内蒙古大学蒙古学学院資料室の目録概要：内蒙古大学での留学成果の一部として
包慕萍 モンゴルの都市史・建築史に関する現地調査の報告
第 14 回近現代東北アジア地域史研究会大会報告
『近現代東北アジア地域史研究会 News Letter』（No.10～16）総目次

第 18 号 (2006 年 12 月発行)

- 羽田正貴 1920 年代ハルビンにおける取引所設立問題
Uva David The Science Factor in Goto Shinpei's Bunsoteki Bubi Theory
金重幾久美 山口大学経済学部東亜経済研究所コレクション—東北アジア関係資料を中心に
吉澤文寿 2005 年に韓国で公開された日韓会談関連外交文書
中見立夫 普林斯顿研究割記—プリンストン大学東アジア図書館所蔵「川嶋浪速書翰」など—
吉田建一郎 満鉄調査課『満洲及北支那に於ける獣骨と骨粉 付録「日本内地に於ける獣骨及骨粉の需要状況」』について
槻木瑞生 在外学校同窓会資料・在外学校教育資料の収集—私的文書の持つ意味について
青柳伸子・小都晶子 『東北行政導報』『東北行政公報』総目録

- 松重充浩 『満洲日日新聞』(1917～1918年)モンゴル関係記事表題目録
 広川佐保 自著『蒙地奉上一「満州国」の土地政策』を語る
 吉田豊子 「冷戦史国際学術討論会暨博士論壇」参加記
 大沢武彦 「戦後『満州』史研究会」の設立
 第15回近現代東北アジア地域史研究会大会報告

第19号(2007年12月発行)

- アナトーリー・レムニョフ(麻田雅文・松里公孝訳) オホーツク・カムチャッカ
 州から極東太守府へ：ロシア帝国の極東空間における行政ゲーム
 松本俊郎 スタンフォード大学フーヴァー研究所文書館が所蔵する戦中戦後の中
 国関係資料について
 郭志華 遼寧省档案馆所蔵、1910年代における奉天政権の通貨改革史料につ
 いて
 杉浦康之・吉田豊子 中国外交部档案馆開放档案の紹介
 吉田建一郎 『大連商業会議所月報』、『満蒙実業彙報』記事目録(1915～1917年)
 河端正規 『獣疫調査所報告』にみる畜産経済史研究
 ボルジギン・フスレ 内モンゴル自治区図書館学会編『内蒙古歴史文献叢書』解説
 塚瀬進 清代中国東北史研究に関する近年刊行された研究書について
 松重充浩 『満洲日日新聞』(1919～1920年)モンゴル関係記事標題目録
 橋本雄一 「満州国」文学研究会の活動と紀要論集『中国東北文化研究の広場』
 岡洋樹 拙著『清代モンゴル盟旗制度の研究(東方書店、2006年)』について
 山本有造 自著を語る—山本有造(編)『「満洲」記憶と歴史』(京都大学学術出
 版会、2007年)—

第16回近現代東北アジア地域史研究会大会報告

第20号(2008年12月発行)

- Olga Bakich Harbin Russians after 1945 : Recollections
 中見立夫 ハルビンへの回憶—オルガ・バキッチさんの講演に寄せて—
 生田美智子 ハルビンへのまなざし—『セーヴェル』の場合—
 松重充浩・千葉正史・林幸司 日本大学文理学部情報科学研究所所蔵「ハルビン絵
 葉書(黒崎コレクション) デジタルアーカイブ」構築の試みについて
 広川佐保 満洲国のモンゴル語教育についての一考察
 塩谷昌史 東北大学東北アジア研究センター・シンポジウム「帝国の貿易」報告
 大澤肇 国際ワークショップ「日米中における満鉄関係資料等の利用と保存を
 めぐる諸問題」参加記
 小都晶子 「満洲移民」と「抗日烈士」をめぐる地域の記憶—中国黒龍江省樺南
 県における調査から—
 左近幸村 ハバロフスクとブラゴヴェシチェンスクにおける学術図書館の紹介

- 西澤泰彦 自著を語る—『日本植民地建築論』からの展開—
 千葉功 自著を語る—『旧外交の形成—日本外交—一九〇〇～一九一九』
 澁谷由里 自著に就いて『馬賊で見る「満洲」—張作霖のあゆんだ道—』、『「漢奸」と英雄の満洲』
 坂部晶子 『「満洲」経験の社会学—植民地の記憶の形』を語る
 古市大輔 紹介と批評：Christopher Mills Isett, *State, Peasant, And Merchant in Qing Manchuria, 1644-1862*

近現代東北アジア地域史研究会大会（第1回～第17回）報告題目一覧

第17回近現代東北アジア地域史研究会大会報告

第21号（2009年12月発行）

- 荒武達朗 嘉慶年間（1796—1820）満洲地域社会の構成—杜家驥編『清嘉慶朝刑科題本社会史料輯刊』の分析を中心に—
 鄭成 中ソ同盟関係形成期における中共とソ連軍の協力関係への一考察—旅大ソ連軍の中国語紙『実話報』を通して—
 田中隆一 「満洲国」における恩赦について
 ボルジギン・フスレ ハルハ河戦争（ノモンハン事件）70周年記念シンポジウムについて
 小都晶子 土龍山事件のその後—中国黒龍江省樺南県、湯原県における調査から—
 上田貴子 横道河子・ロマノフカ村探訪記
 大野太幹 漢族東北移民研究の到達点—荒武達朗著『近代満洲の開発と移民』書評を中心に—
 島田美和 書評 森久男『日本陸軍と内蒙工作—関東軍はなぜ独走したか』
 斉藤奈々子、広川佐保解説 『大陸新報』社説一覧（1939-1945年）
 第18回近現代東北アジア地域史研究会大会報告

第22号（2010年12月発行）

近現代東北アジア地域史研究会20周年を記念して

- 山本有造 はじめの第一歩
 中見立夫 手弁当の味わい—研究会20周年に寄せて—
 松重充浩 設立20周年をむかえて—当会設立準備当時の思い出—
 井村哲郎 近現代東北アジア地域史研究会と私
 村上勝彦 近現代東北アジア地域史への関心
 江夏由樹 東北アジア地域史研究と各国史
 江夏由樹 東北アジア史の視点からみた羊毛をめぐる日本とオーストラリアとの関係—オーストラリアにおける史料調査の報告—
 包慕萍 中国近代建築遺産をいかに評価すべきか—東北の都市を中心に—
 上田貴子 瀋陽を歩く

- 小都晶子 「満洲国」期の水利建設—中国遼寧省盤錦市、吉林省松原市における調査から—
- 広川佐保 旅蒙商を訪ねて—山西から内モンゴル、そして河北へ—
- 左近幸村 新しいロシア国立歴史文書館（RGIA）と大統領図書館の利用法—ペテルブルグでの史料調査—
- ボルジギン・フスレ 国際シンポジウム「第二次世界大戦のアジアでの終結、結果と教訓」
- 槻木瑞生 高木康子『近代日本におけるチベット像の形成と展開』
- 佐藤憲行 拙著『清代ハルハ・モンゴルの都市に関する研究—18世紀末から19世紀半ばのフレーを例に』について
- 柴田幹夫 『大谷光瑞とアジア—知られざるアジア主義者の軌跡—』
- 大野太幹 ボリス・ヴァジモヴィチ・サカーロフ『ウンゲルン男爵—黒い騎手』
- 井村哲郎 黒崎裕康『哈爾濱松浦洋行序説—満洲で成功した日本商社の軌跡』
- 第19回近現代東北アジア地域史研究会大会報告

第23号（2011年12月発行）

- 荒武達朗 『琿春副都統衙門档案』より見た18世紀後半の琿春地方の流民
- 中村正人 戦前期のガイドブックは現在、どれだけ“使える”か
- 吉澤文寿 3・11以後の朝鮮「非核化」をめぐる考察
- 阿部由美子 長野県にある近代中国史関係資料と史跡について—川島浪速、川島芳子、肅親王善耆、河原操子、福島安正—
- 麻田雅文 «Вестник Маньжурии» 解題と目録（1）1925-1926
- 村上勝彦 中国同盟会成立記念講演会について
- 山本有造 長いお別れ—岡部牧夫氏の訃—
- 井村哲郎 岡部さんの研究の背後にあったもの
- ユ・ヒョジョン 書評：青木雅浩著『モンゴル近現代史：1921～1924年—外モンゴルとソヴィエト、コミンテルン』
- 田中剛 書評：ボルジギン・フスレ著『中国共産党・国民党の対内モンゴル政策（1945～49年）—民族主義運動と国家建設との相克』
- 佐藤憲行 書評：橘誠著『ボグド・ハーン政権の研究：モンゴル建国史序説1911-1921』
- 大野太幹 外国行政支配下の中国人社会をどう見るか—浅田進史著『ドイツ統治下の青島 経済的自由主義と植民地社会秩序』書評—
- 広川佐保 D. ゴリクト著『徳王—その研究成果』
- 近現代東北アジア地域史研究会設立20周年記念大会報告

第24号（2012年12月発行）

- 槻木瑞生 満洲教育史概略—その土地に生きた人の視点から—

- 橘誠 インディアナ大学滞在記
- 塚瀬進 清代マンチュリアの諸民族に関する研究動向
- 平井孝典 小樽商科大学の「緑丘アーカイブズ」
- 中見立夫 薄益三の遺稿と自供調書
- 広川佐保 「蒙古義軍 秘 挙事筌蹄」および解題
- 大野太幹 「(漁業に関する) スーチャン地区の調査資料」の翻訳及び解説—1930年代における極東沿海州の朝鮮人漁夫とコルホーズ—
- 王莞晗 20世紀初頭、九州地方に於ける海外修学旅行記録—商業学校を中心に—
- 小都晶子 満洲調査機関聯合会について—機関誌『調査』を中心に—
- ボルジギン・フスレ 第5回ウランバートル国際シンポジウム「チンギス・ハーンとモンゴル帝国—歴史・文化・遺産」について
- 小林元裕 自著を語る—『近代中国の日本居留民と阿片』
- 大沢武彦 書評：鄭成『国共内戦期の中共・ソ連関係—旅順・大連地区を中心に』
- 第21回近現代東北アジア地域史研究会大会報告

第25号 (2013年12月発行)

- 金井美智子 ロシア文学者・平井肇の満洲時代
- 青木雅浩 日本人のモンゴル抑留に関するモンゴルの公文書史料について
- 塚瀬進 清代マンチュリア史に関する研究史の整理—清代前半を中心に—
- 上田貴子 カリフォルニア遊学記
- 大野太幹 南半球から見た満洲—オーストラリア国立公文書館所蔵史料との関係から—
- 広川佐保 大興安嶺をこえて—中東鉄道を巡る調査記録 (2012年夏) —
- 井村哲郎 松崎鶴雄覚書
- 柴田清継 松崎鶴雄著作・作品目録
- 松重充浩 『ありなれ』(第1～56号) 総目次
- 松重充浩 『満洲日日新聞』(1921年) モンゴル関係記事標題目録
- 山本有造 書評：高橋益代『日本近代経済をめぐる資料と情報—日本経済統計情報センターにおける実践から—』
- 麻田雅文 拙著『中東鉄道経営史』のその後
- 第22回近現代東北アジア地域史研究会大会報告

第26号 (2014年12月発行)

- 向野康江 向野堅一『明治二十七八年戦役餘聞戦役夜話』再考—「旅順事件」検討の前提として—
- ギュンター・ディステルラート・湯川史郎 報告：ボン大学2014年夏学期リレー講義『満洲の過去と現在』

- 王廣義 1980年代以来中国近代東北郷村史研究述評
- 中山大将 サハリン樺太史研究会発足以後の樺太史研究の動向—三木理史『移住型植民地樺太の形成』から中山大将『亜寒帯植民地樺太の移民社会形成』および〈戦後史〉へ—
- 飯倉江里衣・尹国花・大野絢也・菅野智博・佐藤量・新谷千布美・馬海龍・湯川真樹江
「満洲の記憶」研究会の設立背景及び活動の紹介
- 橘誠 あるモンゴル王公の末裔との出会い
- 荒武達朗 資料紹介 東亜同文書院生の見た満洲の「娘子軍」
- 江頭紀代美 『長崎大学経済学部東南アジア研究所所蔵 戦前期文献目録』について
- 岡田和裕 日本人と安東の120年—「安東会」『ありなれ』58年の歩みを顧みつつ—
- 川邊雄大 書評 柴田幹夫著『大谷光瑞の研究—アジア広域における諸活動』
- 第23回近現代東北アジア地域史研究会大会報告

第27号(2015年12月発行)

- 岡崎久弥 モンゴル東部地域の旧ソ連軍巨大基地と鉄道の起源—スターリン最初の対日参戦意志：6年間の現地共同調査から—
- 田嶋信雄 国際シンポジウム「和解への道—日中戦争の再検討」参加記
- 塚瀬進 清代マンチュリア史研究に関する戦前の研究と近年の中国における注目すべき研究
- 吉田順一 興安総省白濱晴澄参与官の手帳断片—1945年8月9日～8月11日—
- 毛利康秀 「東亜学術論壇2015」参加記—中国・ハルビン調査と国際シンポジウムの記録—
- 荒武達朗 書評：明清時代遼東・遼西地方の歴史地理学的研究—黄普基『明清時期遼寧、冀東地区歴史地理研究：以《燕行録》資料为中心』の紹介—
- 生田美智子 自編著『わたちの満洲：多民族空間を生きて』を語る
- 大沢武彦 書評：梅村卓『中国共産党のメディアとプロパガンダ—戦後満洲・東北地域の歴史的展開』
- 小林信介 自著を語る『人びとはなぜ満州へ渡ったのか—長野県の社会運動と移民』

第24回近現代東北アジア地域史研究会大会報告

第28号(2016年12月発行)

- ボルジギン・フスレ 第9回ウランバートル国際シンポジウム「シルクロードとティールロード」報告
- 佐藤憲行 「張家口・冬博会と一帯一路国際学術研討会 (International Seminar on the Belt and Road Initiative and Winter Olympics in Zhangjiakou)」参加録

- 吉田豊子 中国外交部档案馆所蔵モンゴル関係档案目録（1949～1965）
 広川佐保 新潟大学附属図書館所蔵木村家文書における満洲移民関係資料
 坂部晶子 書評：満洲の同窓会研究—佐藤量『戦後日中関係と同窓会』（彩流社、2016年）—
- 白戸健一郎 自著『満洲電信電話株式会社—そのメディア史的研究』を語る
 石川亮太 朝鮮開港をどう考えるか—拙著『近代アジア市場と朝鮮—開港・華商・帝国』に寄せて—
- 塚瀬進 自著を語る—『溥儀：変転する政治に翻弄された生涯』
 中生勝美 自著を語る—『近代日本の人類学史：帝国と植民地の記憶』
- 第25回近現代東北アジア地域史研究会大会報告

第29号（2017年12月発行）

- 南龍瑞 日中戦争期「満洲国」における映画作りのジレンマ
 中山大将 中華民国および中華人民共和国におけるサハリン樺太史研究—台湾と大陸における庫頁島中国固有領土論の系譜
- 加藤聖文 国際シンポジウム「和解への道—日中戦争の再検討—」に参加して
 靳巍 『畜産満洲』—所蔵と記事目録—
- 及川琢英 白木沢旭児編著『北東アジアにおける帝国と地域社会』について
 稲葉千晴 田嶋信雄著『日本陸軍の対ソ謀略：日独防共協定とユーラシア政策』
 柴田善雅 自著を語る：『満洲における政府系企業集団』
 澁谷由里 自著を語る：『〈軍〉の中国史』
- 第26回近現代東北アジア地域史研究会大会報告

（おのおの たいかん：国立公文書館アジア歴史資料センター研究員）